

問題解決の手順と方法

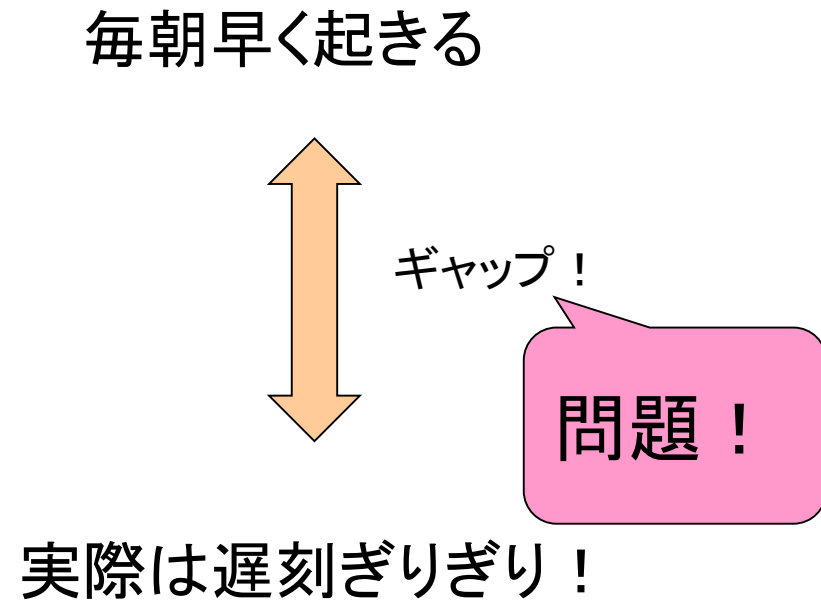
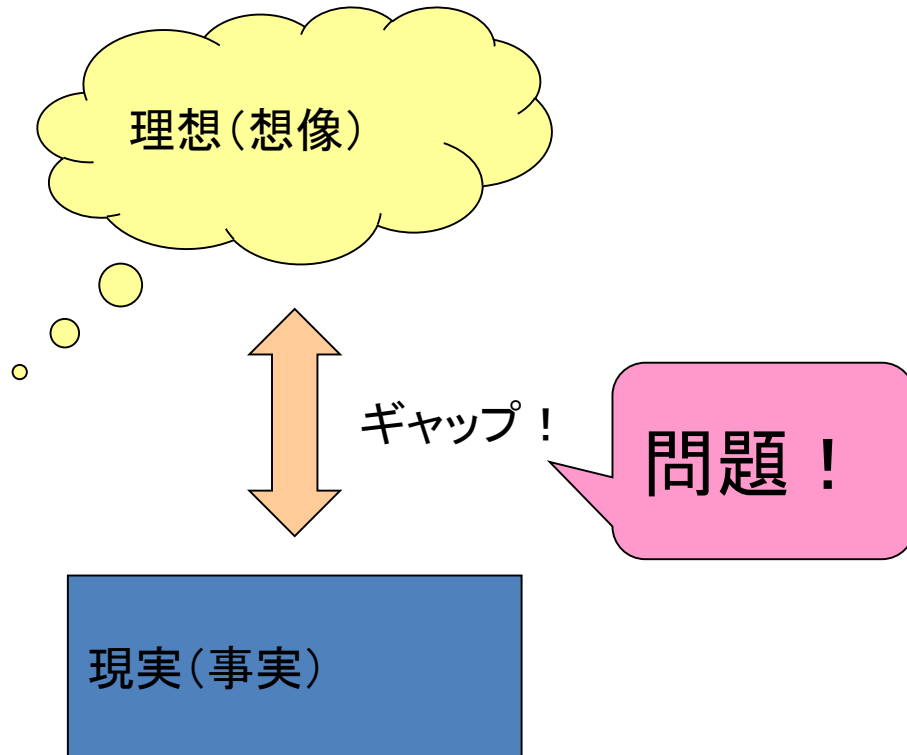
情報の科学 第7回授業

02情報社会の問題解決

教科書P.92～93

「問題」とは(教科書P92～)

- 「問題」とは
理想と現実との「ギャップ」



演習1:「理想」と「現実」を考える

簡単な「理想」と「現実」を考え書いてみよう。

例えば、

理想: 朝早く起きる

ここに2行くらいスペースを空けておいてください。
(理由は後ほど…)

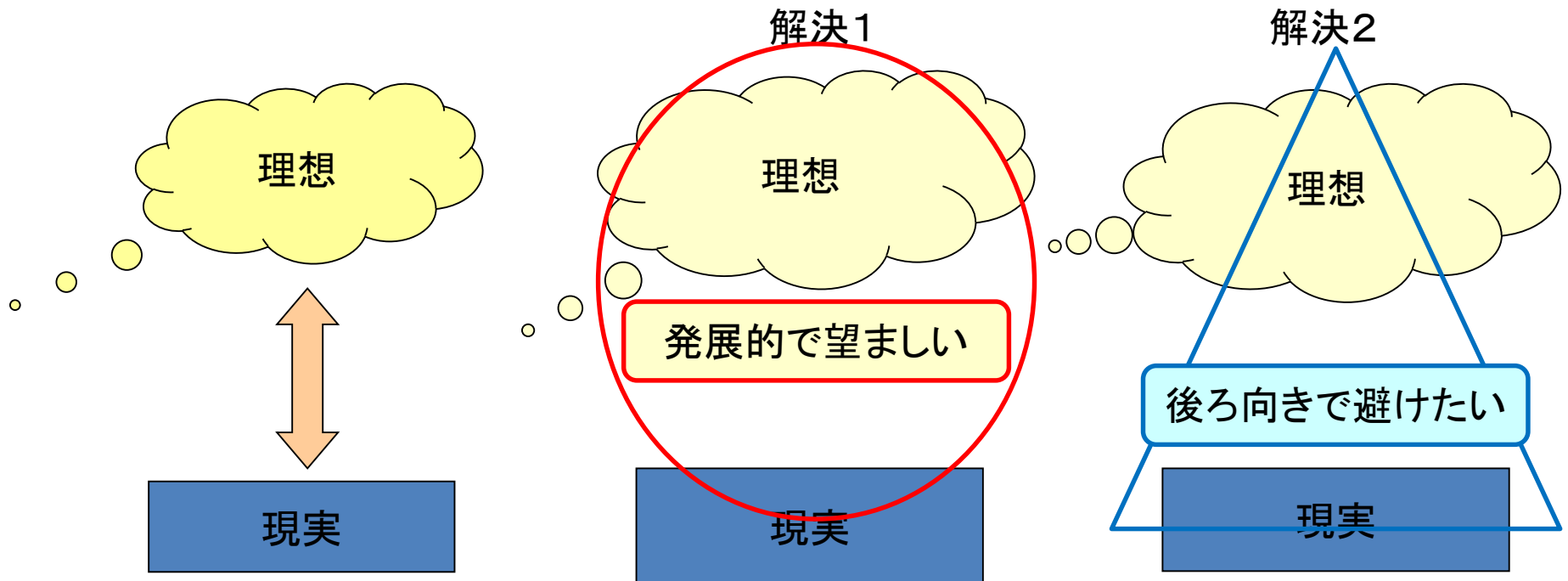
現実: 実際は、遅刻ギリギリに起きる

単純なことで結構です。できるだけシンプルに。

「問題」を「解決」する

「問題解決」

・・・「理想」と「現実」のギャップを埋めること



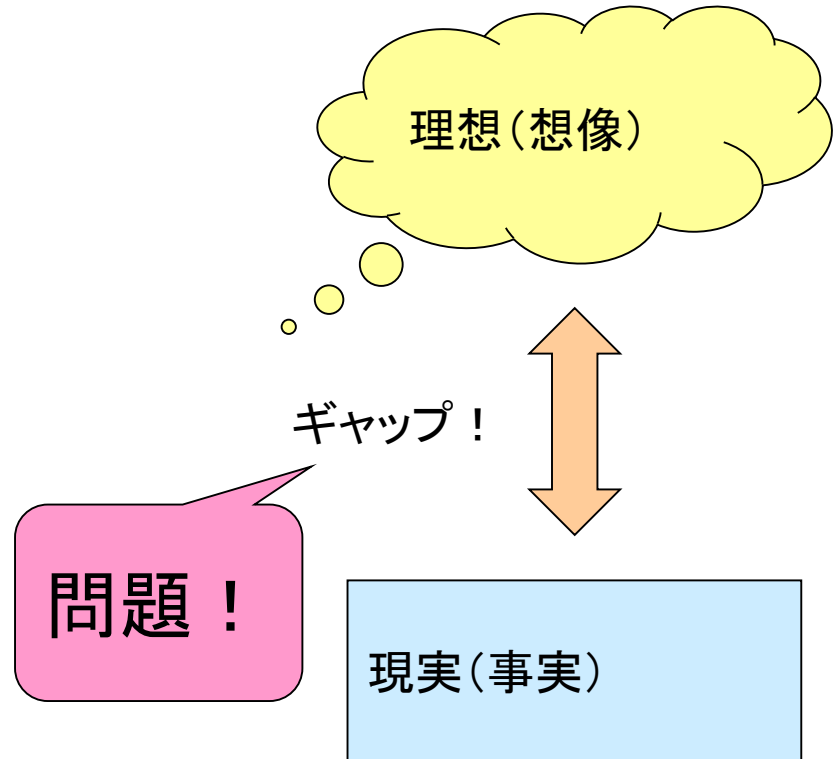
「現実」が「理想」に発展する「良い問題解決」を！

問題解決のためには

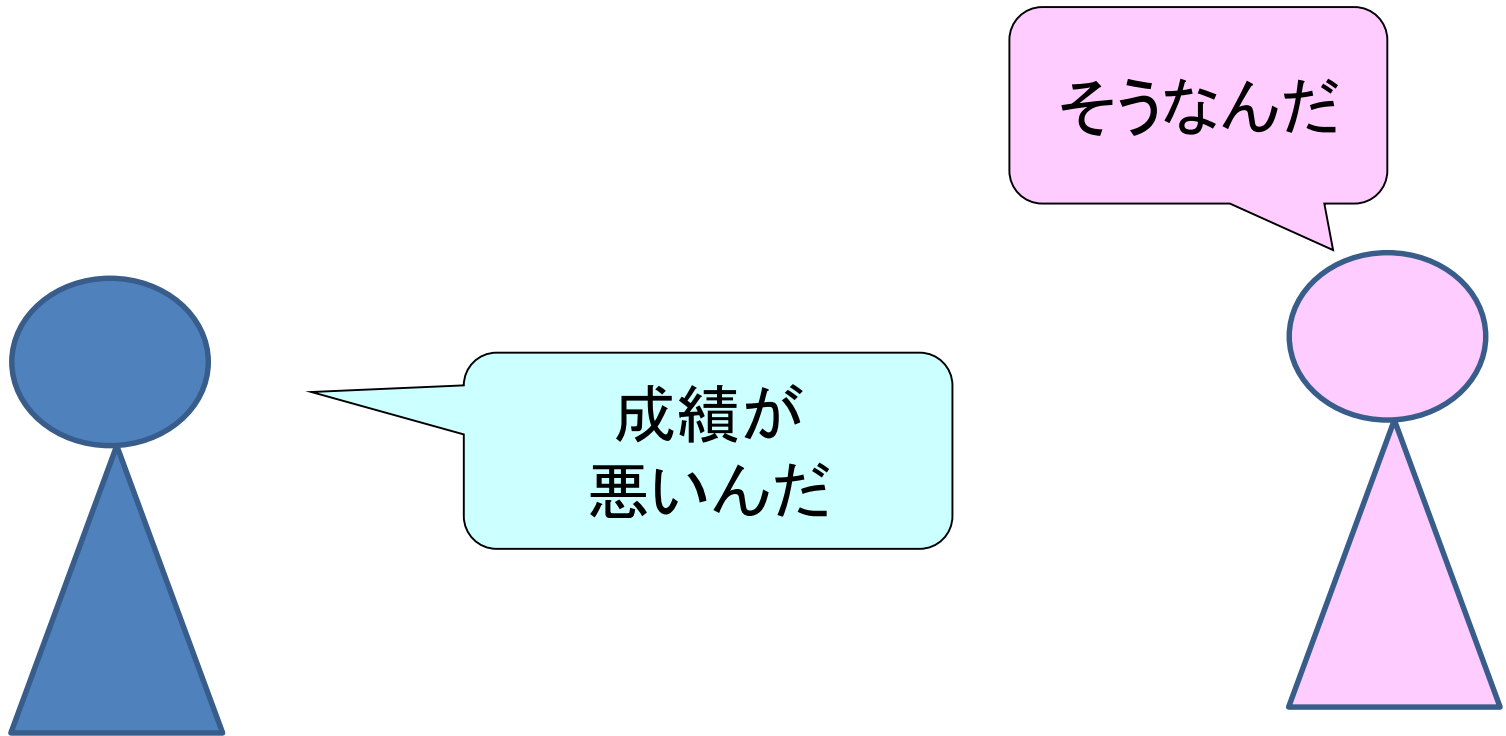
- 問題「解決」とは
理想と現実のギャップを
埋めること。



まずは、「理想」と「現実」を
それぞれ明確化しよう！！

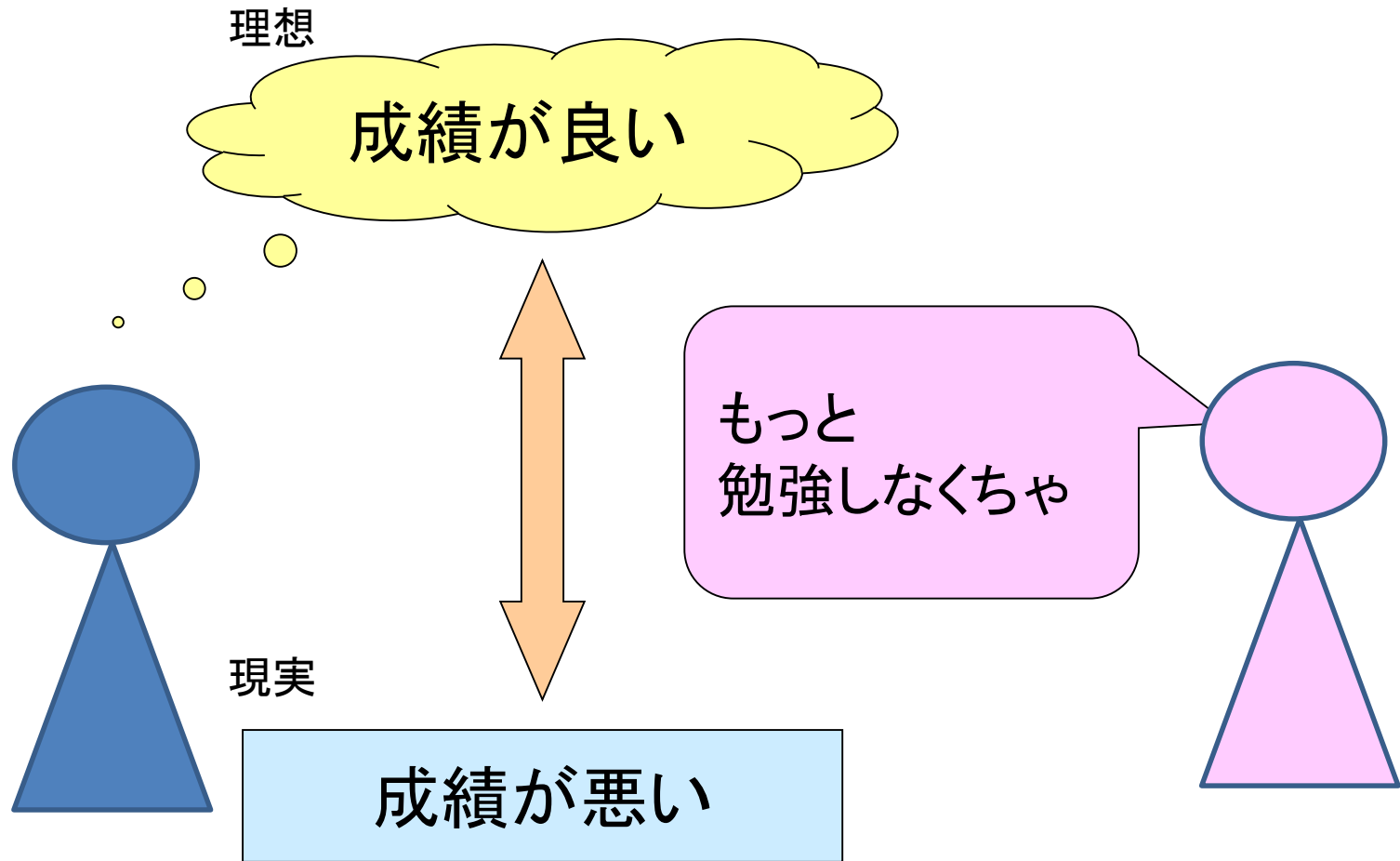


例えば



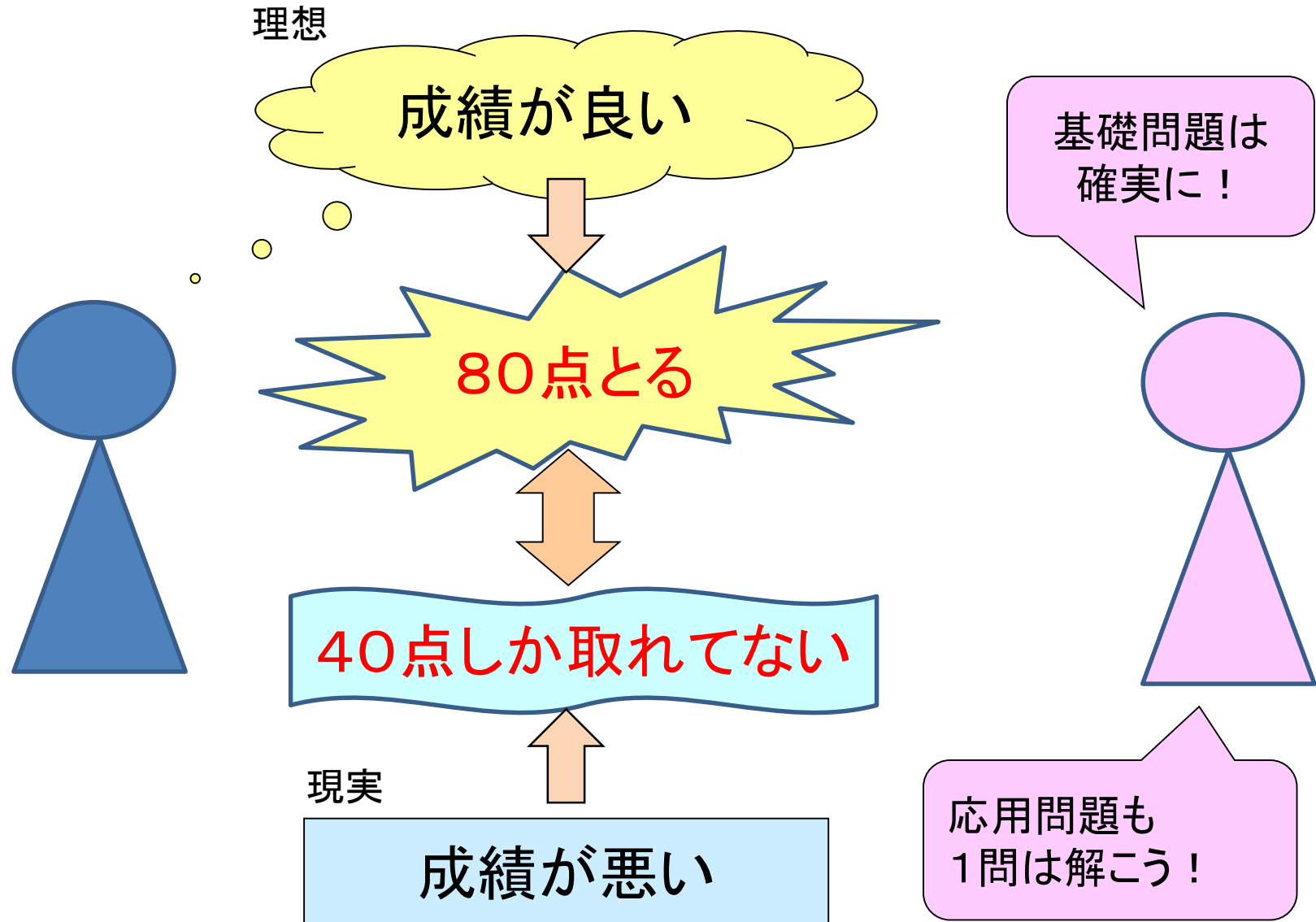
「理想」と「現実」を明確化しないと、「そうなんだ」としか言えない
「そのままでもいいや」と思ったら、「問題」にすらならない

例えば



「理想」と「現実」があるので、「問題」と言えるが、
解決案としては、どうしても抽象的なものしか……

「理想」と「現実」が具体的であるほど 解決策も具体的に考えられる



演習2: 具体的な「理想」と「現実」

例)

この部分を
考える！

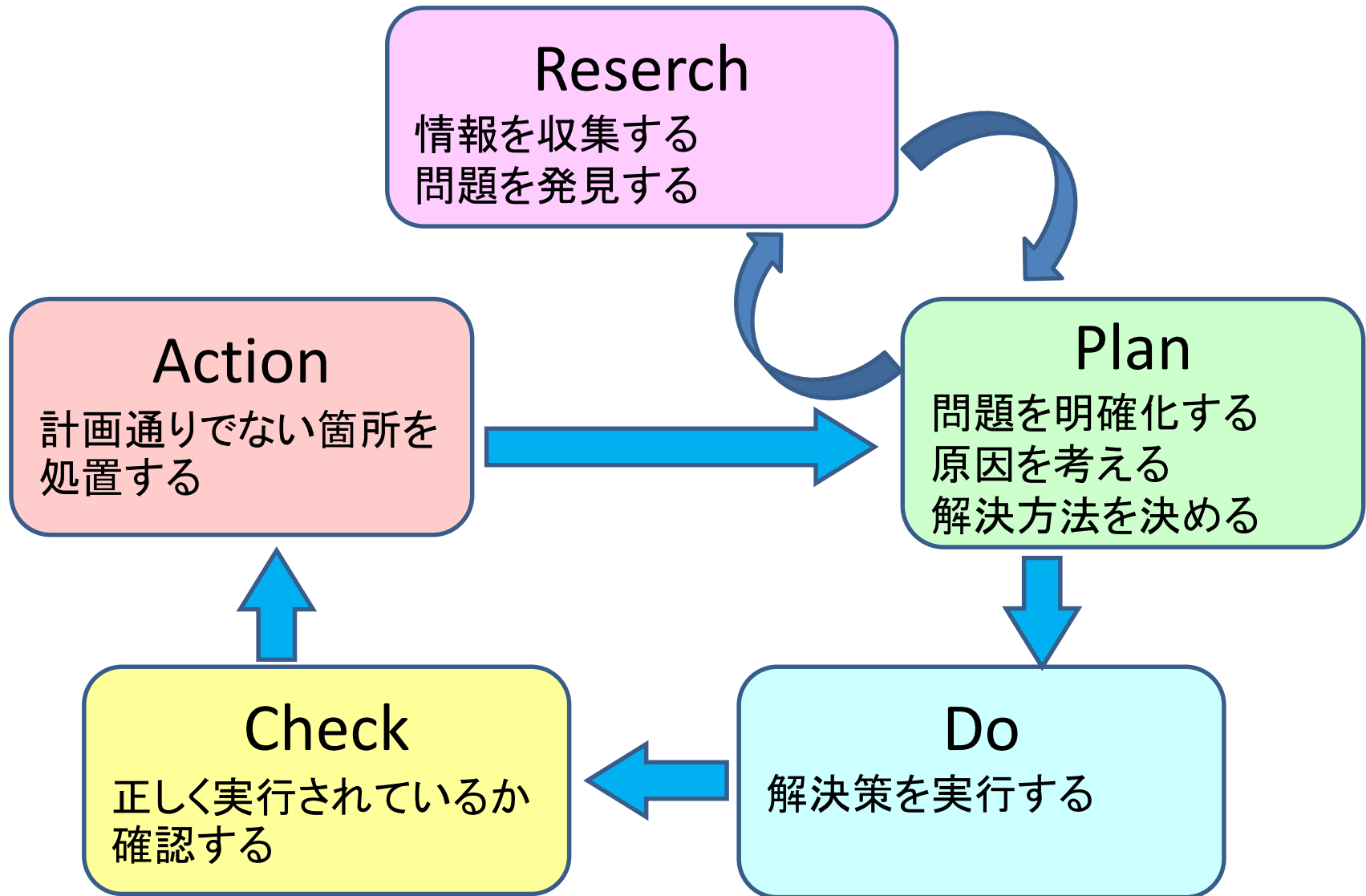
理想： 朝早く起きる

具体的な理想： 毎朝6時に起きる

具体的な現実： 実は7時に起きる

現実： 実際は、遅刻ギリギリに起きる

より良い問題解決のために(P.92)



Reserch と Plan の重要性 (p.93)

- 良い問題解決
 - 問題の明確化(「理想」と「現実」が明確)
 - 原因を分析、情報収集
 - 解決策の検討と評価
- やみくもな問題解決
 - 「とにかくがんばる」
 - 問題の明確化、原因の分析が不十分
 - 「がんばったんだけどなあ・・・」

問題発見・問題の明確化に向けて

理想

よりよい社会

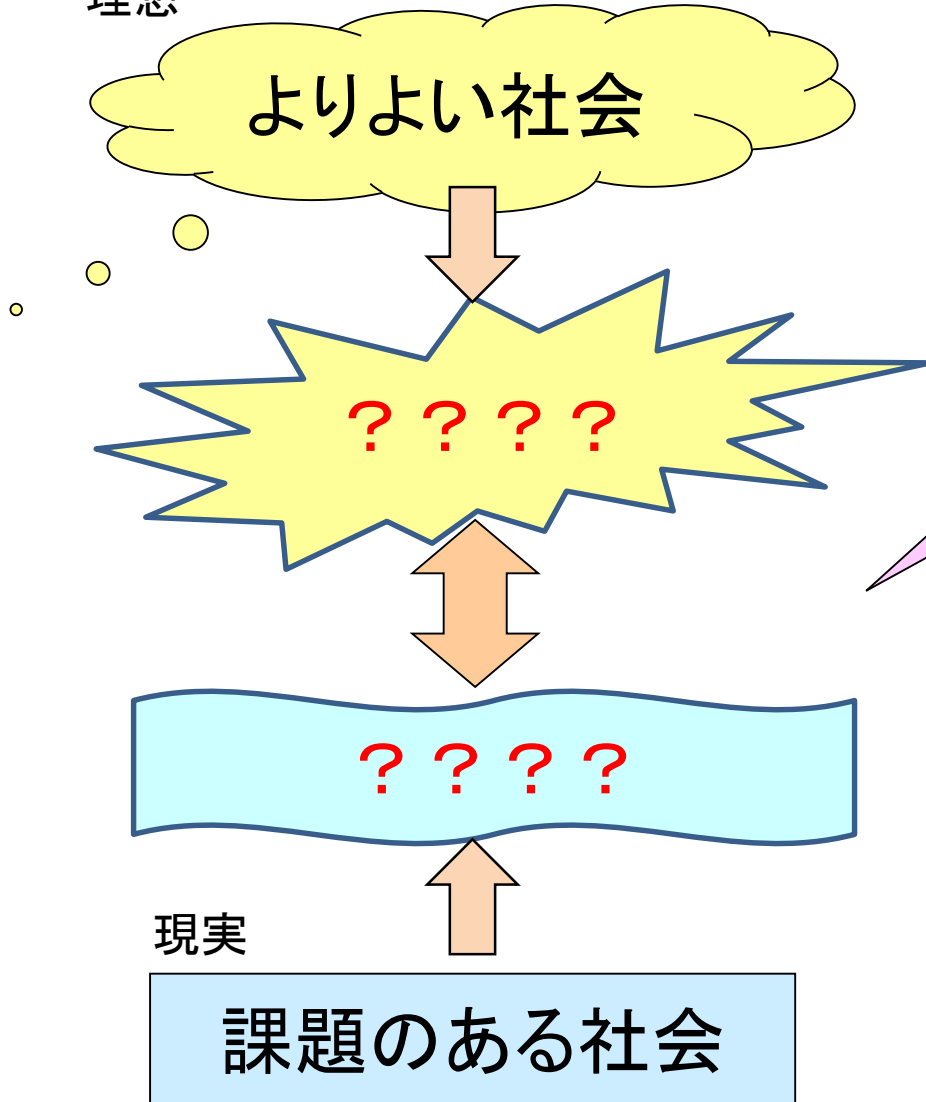
????

????

現実

課題のある社会

理想と現実が
明確で無いときに
アイデアを広げる
必要性



問題発見と整理について(予習)

1 幅広くアイデアを広げ、まとめる(広げる)

- フレームワーク、ブレインストーミング
- アイデアカード

2 原因をより深く考える(なぜなぜ)

- ロジックツリー、連関図、特性要因図
- IE図

3 解決策をより具体的にしていく(どうすれば)

- ロジックツリー、特性要因図
- IE図

アイデアを広げるための方法

トレーニング① フレームワーク

あえて枠組みなどの「切り口」を考え、その中で思考する。

例1)「封筒」の使い道を考える。(本来的でなくても良い)

- 本来的な使い方は・・・
 - 郵使用、書類を保護(汚さない)、一つにまとめ整理する、・・・
- 大きさ、形に着目すると・・・
 - 鍋敷として、定規として、縁をカッターとして、・・・
- 材質に注目すると・・・
 - ノート代わりに、小さく切ってメモに、折り紙、ティッシュ代わり、・・・
- 複数集めて・・・
 - 枕として、掛け布団、・・・

などなど

練習0

「鉛筆」の使い道をできるだけ具体的に考えよう
(例: 字を書く)

アンケートにできるだけたくさん記入する
(「字を書く」以外: 最低3つは挙げよう!)

本日のまとめ

- 「問題」とは・・・
 - 理想と現実とのギャップ
- 人によって、「問題」となったりならなかったりする場合がある
- 「理想」と「現実」を具体化することが大切
- 問題解決の代表的な流れ・・・
 - PDCAサイクル、特に大切なのは・・・
 - 「Plan」の段階をしっかりと！
- アイデア（見方・考え方）を広げる必要性